



## 希望記事



・年金の2階建部分が厚生年金と統合される法案が成立したことをうけ、共済年金制度がどう変わるのか、受け取れる額が減るのか、我々のような若年層が将来受け取れる年金はどうなるのかなど、ALPSの視点と切り口でなるべく具体的に分かりやすく取り上げていただきたいです。

退職金制度の改正とあわせて、今後掲載する予定です。

・仕事をしながら資格試験に挑戦している方の記事を読みたいです。

本誌2012年1月号(108号)で掲載しました、柳原誠さんの「キヤリア形成から始まった私の生きがいづくり——目指すは、不安を減らすお手伝いができる職業人」では、ファイナンシャルプランナーをはじめ様々な資格取得に向けて取り組まれた様子が、ご自身の勉強法とあわせて紹介されています。ぜひご一読ください。

・ALPSを定期購読されている方で定年前に着々と定年後のことを考え行動されている方がいると思うのですが、そのような方に何をどう準備されているのかなど記事にしていたらと非常に興味があります。

昨年度より掲載しております「私のネクストステージ」の記事中で定年前の準備について触れている部分がありますので、そちらもご参考いただければと思います。

・簡単でもいいので、介護保険の仕組みを紹介して欲しいです。市井の危機感を行政は全く感じていないので。

本誌2012年1月号(108号)の「シリーズ 公的保障の基礎知識」で介護保険の解説記事を掲載していますので、一度ご参照ください。

・高齢者介護に関わる様々な支援情報。その他、高齢者介護の悩み相談コーナーなど具体的な問題ケースに対して、どのような対応が効果的かなどの情報が共有できるとよい(痴呆に伴う妄想や金銭浪費などに対応に苦慮し、困っているの...)

本誌の読者対象は20代からとたいへん幅広いため、介護だけの相談コーナーを設けるのは難しいのが現状です。ただし、本誌Familyのコーナーでは年1回のペースで介護に関する記事を掲載予定ですので、ご参考いただければ幸いです。

・顔のしわ、たるみが気になる年齢になりました。美顔マッサージの手法やかっさマッサージ(?)について記載を希望します。

男女を問わずアンチエイジングへの意識が高まる昨今。しわ、しみ、たるみ、確かに気になりますね。掲載について一度検討してみたいと思います。

・糖尿病予防策など生活習慣病の予防

本誌Healthのコーナーでは2012年1月号(108号)より、「心筋梗塞」「脳血管疾患」「がん」をテーマに、予防法も含めた記事を掲載しています。また、2011年4月号(105号)では餐場直美さんによる「生活習慣病を防ぐ食習慣」も掲載していますので、そちらを一度ご覧ください。

## その他ご意見

・二宮清純さんのインタビュー記事の中で「サムライの原点は、野茂英雄さんの挑戦にあるのではないか」と云う部分に関して、私もそのように思います。野茂さんは、きつと好きな野球を「楽観的に構想をし、悲観的に計画をし、楽観的に実行する」を、まさしく実践できた人です。私たち公務員もこのように仕事が出来る様に努めたいのです。

「転ばぬ先の杖を何本用意できるか、これが勝敗を隔てる因子の正体だろう」など、二宮清純さんの言葉には、スポーツの分野に限らず、さまざまなシーンでも応用できるヒントが隠されていた気がします。

・「大人の発達障害とは」の記事は内容が難しかった。  
・7年ぶりの異動が財政から福祉、しかも障害担当ということ、前回アンケートに回答する間もなかったところですが、今回の「大人の発達障害とは」は正に目から鱗で、身体、精神、知的の三障害に加え、発達障害の中身そのものを分かりやすく説いていただいた気がします。こういう専門性のある分野の入り口に切り込んでいただけた企画を今後も期待します。

可能な限り、専門知識がなくてもお読みいただけるよう努めていきたいと思えます。

・「フィルムになった風景」の記事で、固有名詞にはふりがなを付けるべきだと思います。

ご指摘ありがとうございます。早速、今号より付けさせていただきますことになりました。

・夫婦の相性——「すれ違うほど、相性がいい」とはなかなか含蓄のある言葉でした。最小単位の社会である家族の中で、お互いに思いやり、補いあって生活していきたいものです。

・「夫婦の相性」とても参考になりました。老境に入り退職後の夫婦の関係に関心があります。夫婦といっても其々人格があり、どう良好な関係を持ち続けることができるか心配です。

・どうも考えが一致しない、わが夫婦、でも、空気がたいな夫婦。これを読んで、なるほどと妻と思わず笑ってしまいました。

本誌の記事が、夫婦円満の一助となればうれしい限りです。

・東洋医学について、今回のツボ押しの記事が参考になりました。

オフィスワークは、体を動かさないからこそ体に負担をかけている面もあるのではないのでしょうか。血行不良による肩こり、腰痛に、本記事のツボ押しを一度お試しください。

・退職後郷里に帰り、野菜作りや山林の整理を行っていたところ、肩の痛みが発生し夜も寝れない状態。近医で五十肩（六十肩）との診断。ストレッチなどを行いながら日常生活を継続していたが、痛みがひどくなり眠れない状態が続いたので専門医を受診。診断は右肩鍵盤断裂。結局手術とリハビリで2か月間入院。肩が痛む時は、その原因究明が必要です!!

肩の鍵盤断裂は既に完治されたのでしょうか。確かに、痛みが少しでも続くようであれば原因究明は重要ですね。手おくれにならないうちに。

・もし、記事を作成されるときに参考にされた文献や雑誌などありましたら、編集後記などで取り上げていただければ参考になります。

情報収集はインターネットですること多いですが、参考にした書籍や雑誌で皆さまに薦めたいものがあれば、ぜひご紹介していきたいと思ひます。

・表紙の構成が見やすくなってよくなったと思ひます。

表紙デザインは今年度より一部変更いたしました。一人でも多くの皆様に本誌を開いていただきたい！という意図が伝われば、成功なのですが…。

・初めて貴誌を拝見しました。いろいろなテーマがバランスよく配分されていて安定感があると思ひましたが、各号ごとに特集を設けても面白いのではないかと感じました。

雑誌では各号ごとの特集もよく見られる手法ですね。ただし、本誌は読者の対象年齢が幅広いことなどもあつて、難しい気がしひます。来年度以降の編集方針を決める際、そのような手法が取れないか一度考えてみたいと思ひます。

・長年の体調不良からやつと脱出…の矢先、同じ公務員の主人と交通事故に巻き込まれ入院。かなり、いろんなことを考えることになりました。今までの事、これからの事…同じ立場で社会生活をおくり、夫婦として同じ家庭生活を送る2人がどのように、何をおもひ生きていくのか、いろんなことを考えさせられました。たくさん思うところがあり報告したいことであふれています。ただ、今まだ、主人は病床にあります。毎日を大切に過ごす…一番心に留める一言です。

コメントを拝読し、自らを振り返つて「ただただ日々生活に追われるだけで、大切に過ごすことまで意識していなかった」と反省させられました。ご主人の一日も早いご快復を心よりお祈りいたします。

・ALPSのページをめくる、余力ある生活が目標です。読んでいて全国に頑張つてひる公務員がひるんだ、と思つとほつとします。自分自身の充実した余暇が作れるように、情報収集&体力増強中です。

社会全体に余裕がなくなつてひるのが気になる昨今、社会も個人もいつか壊れてしまふのではないかと心配になります。くれぐれも頑張りすぎてご無理をなさらないようにしてください。

・興味深いインタビューや有意義な内容の記事が多く、楽しみにしてあります。せつかく良いものを創つておられると思ひますので、もっと多くの方にお読みいただけたらと思ひます。

本誌の記事はホームページへの掲載もしてありますが、より多くの方にご覧いただけるよう、工夫の余地がないか検討してみたいと思ひます。

・毎号、多角的な角度からのテーマ、内容に大満足。新聞の断面記事、雑誌とも異なり、この一冊で、いまの社会と経済と生き方を幅広く感じられるし、また、考えられる雑誌です！  
・毎号充実した内容で読みごたえがあります。また、タイムリーな話題が多く今後も期待しております。

お誉めいただき、ありがとうございます。今後も、皆さまのライフプランに役立つ記事を、できるだけタイムリーにお届けできるように努めてまいります。

### 通信員からの評価が高かつた記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かつた」「良かつた」「ふつ」「あまり良くなかつた」「良くなかつた」の5段階評価をしていただひています。ここでは「とても良かつた」「良かつた」の評価が多かつた記事をベスト3までご紹介します。

#### ●1位…Family

「夫婦の相性——『すれ違ふほど、相性がいい』という真実」黒川伊保子

#### ●2位…Economy

「法律あ・ら・か・る・と②  
『賃借人が火事をおこした場合、連帯保証人は責任を負うか?』」東麗子

#### ●3位…Health

「脳血管疾患とその予防法」岡田靖